

古里を愛する心育む

松沢小 南会津町

「昔は生徒を喜ばせ、希望を持っていくの大切さを歌っている。」「清らかな川止の「で始まるる昔は、イワナが元気よく跳ねる川や、燃えるような紅葉など、山あいである町田の美しい四季の情景を浮かび上がらせる。3番は、瞳を輝かせながら、生徒生活で学校生活を満喫する子どもたちの姿を表現している。」

松沢小は2013（平成25）年4月、南会津町の松沢小と針生小が統合して誕生した。自然豊かな環境で、全校児童48人が元気いっぱいに学んでいる。

統合に伴い、校歌も新たに制定された。歌詞にも「昔まであり、」

松沢小は「地域を愛し、夢と希望を持ってたくましく生きてほしいもの育成」を教育目標に掲げている。副校長は校歌について「教育目標とびびりたり合う校歌。歌うことで、自然豊かな古里を愛する心が育まれる」と感じていると語った。

始業式や修業式、各種行事などの際には、子どもたちが校歌を元気いっぱい斉唱する。大橋夏鈴さん（6年）は「歌詞に（統合前の）松沢と針生の二つの校名が入っており、統合の歴史も伝えている。みんな仲の良い学校なので、これからも一層元気に歌ってみたい」と話した。

わが校歌

- 一、朝露なびく 山並みは
希望の光 満ち満ちて
せせらぎに歌い こだませば
いのちの歡び わき躍る
私たち松沢、針生の子
われらの松沢小学校
- 二、清らかな川止の 水芭蕉
岩魚が跳ねる 沢の境
相穂に紅葉 照り映えて
七が岳 源として
私たち針生、松沢の子
われらの松沢小学校
- 三、輝くひとみ 仲間たち
松のように まっすぐに
笑顔に夢を はぐくんで
未来に向かって 願っていく
私たち南会津の子
われらの松沢小学校

作詞 風真木 純一
作曲 神山 純一

